

# ☆着物（留袖）をご持参の方へ☆

心を込めて、着付をさせていただきます。よろしくお願い致します。  
 当日、スムーズに着付ができるよう、大変恐縮ですが、下記のご参照お願い致します。  
 尚、ご不明な点がございましたら、事前にご連絡頂けると幸いです。

※女性（留袖）

準備頂くもの	備考		チェック
黒留袖 色留袖	コーリンベルトがあると便利です ※コーリンベルトは、お持ちの方のみでOKです		
肌襦袢・裾よけ	ワンピースタイプ・二部式どちらでも可能です		
補正用タオル	4枚～5枚ご用意ください (スポーツタオルの大きさでお願い致します)		
長襦袢	着物の下に着用する下着のかたちを整え、長着を着やすくし、すっきりとした美しい線を出す役目をもっています 必ず、半襟を付けてください		
袋帯	二重太鼓を結びます		
帯締め（白）	帯が緩まないように帯の上から最後に締める紐です		
帯揚げ（白）	帯の上に巻く布です		
腰ひも	着物を着付ける際に使います 4～5本必要です		
襟芯	長襦袢の半襟の中に入れるものです		
帯枕 (ガーゼ付き)	帯の中に入れて形を整えます（手結び帯のみ）		
帯板	帯にシワが入らないように挟みます		
伊達締め	2本ご用意ください 長襦袢・留袖に使用します		
扇子（末広）	着付けが完了したら、最後に帯と帯揚げの間に差します 礼装用の金銀の末広をご用意ください		
白足袋・ぞうり			
バック			



長襦袢の半襟を当方に依頼されます方は、事前にご相談お願い致します。  
 留袖は比翼仕立て（着物を重ねて着る様に見える）になっていますので、  
 伊達襟（重ね襟）を別途用意する必要はありません。  
 ※比翼仕立て（ひよくじたて）は、着物の衿や裾、袖口、振りに下着の布を縫い付けます。  
 着物の裏の縫い代に比翼（ひよく）の縫い代を一緒に縫い込んで仕立てる  
 本比翼（ほんびよく）と、表の着物とは別に、比翼（ひよく）の部分を作って  
 後から付ける付け比翼（つけびよく）があります。